

北海道高等学校文化連盟第 16 回全道高等学校英語弁論大会 (弁論の部・ディベートの部) 実施要領

- 1 主 催 北海道高等学校文化連盟国際交流専門部
- 2 当 番 校 北海道岩見沢東高等学校
- 3 日 時 1 日目 平成 27 年 10 月 31 日 (土) 9:00 ～ 17:30
2 日目 平成 27 年 11 月 1 日 (日) 9:00 ～ 16:15
会 場 北星学園大学 〒004-0042 札幌市厚別区大谷地西 2-3-2 TEL 011-891-2731
- 4 時 程

1 日目	2 日目
9:00～ 受付	9:00～9:25 準備
9:30～9:45 開会式	9:30～10:30 ディベート予選第 4 試合
9:45～10:15 弁論発表 1～4	10:30～11:30 予選会場片付け
10:30～11:00 弁論発表 5～8	11:30～12:30 準決勝
11:10～11:40 弁論発表 9～12	12:30～13:15 昼休み
11:50～12:20 弁論発表 13～16	13:15～14:15 3 位決定戦
12:40～13:10 ディベートジャッジ打合せ	14:30～15:30 決勝
13:20～13:45 弁論大会表彰式及び ディベート大会諸連絡	15:45～16:15 閉会式
14:00～15:00 ディベート予選第 1 試合	
15:15～16:15 ディベート予選第 2 試合	
16:30～17:30 ディベート予選第 3 試合	

※弁論の部に出場する生徒がいない学校等、事情により到着が遅くなる場合は、1 日目の 12:00～12:30 に受付を行って下さい。

- 5 交通手段 【北星学園大学】 地下鉄東西線「大谷地駅」下車 1 番出口 徒歩 5 分

【弁論の部実施要領】

- 1 当番校 北海道岩見沢東高等学校
〒 068-0820 岩見沢市東山 8 丁目 1 番 1 号 TEL 0126-22-0175 FAX 0126-22-6883
- 2 参加資格 (1) 各地区の代表者であること。
(2) 英語のネイティブスピーカーは不可。
- 3 各地区からの出場者数 (1) 地区大会の参加者数が 10 名以下の場合 1 名
(2) " 11 名から 20 名の場合 2 名
(3) " 21 名以上の場合 3 名
- 4 参 加 費 1,000 円
- 5 演 題 地区大会で発表したものとする。原則として内容の変更は認めない。
- 6 制限時間 4 分 30 秒～5 分 30 秒。開始後 4 分 30 秒で 1 回、5 分で 1 回、5 分 30 秒で 2 回ベルを鳴らします。
- 7 審 査

(1) 審査基準	①内 容 (Content) 10 点	
	②英語・態 度 (Delivery) 10 点	
	④応 答 (Q & A) 4 点	
	⑤時 間 (Time) 1 点	
	合 計	25 点

※スピーチ及び応答 (Q&A) にマイクを使用します。

(2) 審査員 5 名で構成し、英語を母国語とする審査員を 1～2 名含みます。

- 8 表 彰 1 位から 5 位を表彰します。特別賞 1 名
上位 2 名は、第 9 回全国高等学校英語スピーチコンテスト（ 月 日（ ））への出場権
が与えられます。
- 9 申込方法 全道大会の出場権を得た生徒は、次の 3 点を大会事務局に提出してください。
（1）出場申込書 →郵送
（2）スピーチ原稿 [A4 縦 横書き(余白 22mm, 文字数 44, Word にて作成)、
タイトル, 名前, 学校名, 本文の順にお願いします。] →郵送
（3）上記スピーチ原稿電子データ →メールにて送信 (添付ファイル名は学校名+生徒氏名)
メール送信先: tsuji.ayumu@hokkaido.school.ed.jp
- 10 申込締切 1 次: 平成 27 年 9 月 28 日 (月) この日までに出場生徒の数を報告してください。
2 次: 平成 27 年 10 月 14 日 (水) 添付の別紙申込書で提出して下さい。
- 11 申込先 岩見沢東高校 辻 歩
不明な点は岩見沢東高校 辻(tsuji.ayumu@hokkaido.school.ed.jp)までお問い合わせ下さい。
- 12 その他 全道大会のスピーチ原稿等資料が必要な方は、事務局にお問い合わせください。

【ディベートの部実施要領】

- 1 当 番 校 北海道札幌国際情報高等学校
〒001-0930 札幌市北区新川 7 1 7 - 1 TEL 011-765-2021 FAX 011-765-2022
- 2 参加資格 ・北海道高文連に加盟する高等学校に在学する 3 年生までの生徒。
・英語のネイティブスピーカーは不可。
・以下の海外生活経験者等の条件に該当するものはチームに 2 名まで。
（1）英語を第 1 言語とする国で 12 ヶ月以上滞在経験のある生徒（就学前の滞在は不問）
（2）英語を第 2 言語とする国の出身である生徒（就学前の滞在は不問）
（3）家庭で常用的に英語を使っている生徒
ただし、試合には該当生徒は 1 名のみ出場できる（該当の 2 名は交代で出場できる）
- 3 チーム構成 ・各校 2 チームまで。（※参加チーム数が奇数の場合例外あり）1 チーム 6 名まで。
・原則として試合への出場は 4 人で、試合毎にメンバーの入れ替えは可能（ただし、チー
ム登録できる選手が 3 人しかいない学校についてのみ、例外を認める）。
・他校との合同チーム編成可（但し、全国大会へは出場できません）。
- 4 対戦方法 予選 4 試合を行った後、上位 4 チームが決勝トーナメントへ進む。
- 5 論 題

Japan should contribute more actively to the United Nations Peacekeeping Operations by relaxing its restrictions for the Self-Defense Forces.

「日本国は、自衛隊の参加制限を緩和し、国際連合の平和維持活動に、より積極的に貢献すべきである。是か。非か。」

※ 付記事項、追加ルール等の補足・詳細については全国高校生英語ディベート連盟
ホームページ <http://henda.global/> を参考にします。

- 6 競技規則 競技は全国高校生英語ディベート連盟の「大会ルール」「ジャッジ基準」に基づいて
行うものとする。上記の連盟ホームページを参考にして下さい。
- 7 参 加 費 1 チームにつき 3, 0 0 0 円
- 8 申し込み 参加申込書に必要事項を記入し、9 月 29 日 (火) までに岩見沢東高校に郵送して下
さい。また、不明な点は札幌国際情報高校 木村(kimura-j@mail.sit.ed.jp)までお問い合わせ
下さい。また、申し込みが奇数校だった場合、出場校を偶数にそろえるためにさらに 1 チ

ーム追加出場させることを希望する学校は、申込書にその旨を記載してください。

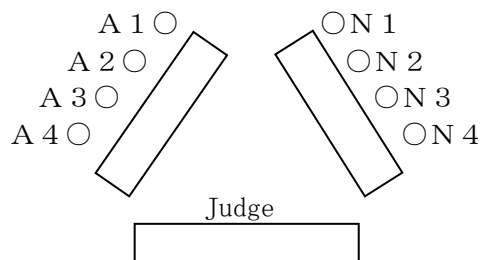
9 選抜方法 参加校数（チーム数ではない）に応じて、全国大会出場枠が与えられる。

10 賞 1位・2位にカップ+賞状、3～4位に賞状を授与。
他に個人賞としてベストディベーター賞を選出。上位校は、12月19日（土）～20日（日）に岐阜聖徳大学「岐阜キャンパス」で行われる、全国大会への出場権が与えられます。

11 その他 (1)地区大会を開催する支部もありますが、今年度は地区順位にかかわらず参加可能です。
(2)昼食は各自お持ち下さい。
(3)上靴は必要ありません。外靴のまま会場にお入り下さい。
(4)宿泊先の斡旋はありませんので、必要な場合は各校で手配をお願いします。
(5)今後の英語ディベート普及のために、**多くの先生方・生徒の皆さんの見学を奨励**しています。ふるってご参加下さい。1日のみの見学も可能。
(6)引率でこられた先生方にもジャッジをお願いすることがあります。

発言の順番

A：肯定側



N：否定側

発言者	役割と内容	時間
A	①肯定側立論（メリットは2点まで出せる）	4分
	準備時間	1分
N4→A1	②否定側質疑（否定側からの質問に肯定側A1が答える）	2分
N1	③否定側立論（デメリットは2点まで出せる）	4分
	準備時間	1分
A4→N1	④肯定側質疑（肯定側からの質問に否定側N1が答える）	2分
	準備時間	2分
N2	⑤否定側アタック（肯定側の立論のみに対して）	3分
A3→N2	⑥そのアタックへの質問（肯定側A3からの質問に否定側N2が答える）	2分
A2	⑦肯定側アタック（否定側の立論のみに対して）	3分
N3→A2	⑧そのアタックへの質問（否定側N3からの質問に肯定側A2が答える）	2分
	準備時間	2分
A3	⑨肯定側ディフェンス（アタックを受けた立論を再構築する）	3分
N3	⑩否定側ディフェンス（アタックを受けた立論を再構築する）	3分
	準備時間	2分
A4	⑪肯定側総括（双方の議論を比較し総括する）	3分
N4	⑫否定側総括（双方の議論を比較し総括する）	3分

42分